

## 秋葉街道再生事業

### 取組に至る背景・事業の目的

江戸時代、秋葉街道は秋葉神社詣での道として、また地域住民の生活を支える道として重要であり、街道の周辺にはその時代を偲ぶ遺産が存在する。秋葉街道を再生することにより、それらを新しい観光資源として位置づけ、観光客を誘致することにより地域振興を図る。

### 事業内容

- 案内看板整備 大看板 2 中看板 5 小看板 38
- 丸太柵土留め設置 4箇所 L=72m
- 丸太柵階段設置 35段
- 倒木除去などの街道整備 約1km  
11月 「秋葉街道道普請隊」との協働



### 事業効果

- 案内看板を建てることにより、旧街道であるという位置づけがなされるため、地域住民にとっては見慣れた風景を見直すきっかけとなり、景観を大切にしようという気運が生まれている。観光客にとっては、道しるべとして大きな効果がある。
- 長谷地区の旧街道は災害等で崩落したりしている箇所が多いため、丸太柵の土留や階段設置により街道として再生が図られ、トレッキングイベントが開催されるなど観光資源として大きな効果をもたらしている。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 引き続き、地域協働として長谷地区の民間組織である「秋葉街道道普請隊」の組織と相談しながら、未整備箇所の整備を行う。
- 大鹿村では、伊那市長谷地区を参考にこのほど「秋葉街道歩き隊」が発足した。こうした流れを大切に、今後、秋葉神社までの沿道市町村などに呼びかけ連携を図り、古道秋葉街道を広域観光資源として観光客を誘致し、秋葉街道沿線地域の発展に努めたい。

#### 【選定のポイント】

地域資源の再発見のきっかけとなり、また、広域的な活動への一層の発展が期待できる。

団体名 伊那市	事業タイプ	ハード事業
連絡先 伊那市長谷総合支所産業振興課 (電話 0265-98-3130)	事業費	3,150,000円
	支援金額	2,100,000円